

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全		27年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト				
事務事業名	高潮防波堤(改良)整備事業		継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7921 計画担当、危機管理課	
目的	対象(誰・何を)	高潮防波堤(知多堤、中央堤、鍋田堤)					事業 期間	平成23~28年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	大規模地震時の津波及び高潮の被害から、背後地域の人命や財産を守るため、かさ上げや補強などの改良工事を行います。						
概要	整備場所:名古屋港外港地区防波堤(知多堤、中央堤、鍋田堤) 内容・規模:高潮防波堤(知多堤約1.3km、中央堤約0.8km、鍋田堤約2.4km) 全体工事費:約110億円 事業手法:直轄事業					根拠 法令等	社会資本整備重点 計画法 名古屋港湾計画	
事業着手時点の 評価	防波堤の改良を行うことで、機能の維持及び耐波性が向上し、背後地域の生命・財産を守ることができます。					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
28年度の実施予定	国が老朽化対策、耐波性の向上を図るため、高潮防波堤の上部工かさ上げ等を実施し、その内容に関して国と協議を行います。					関連 シート		

2 DO(実施)

28年度に実施した 内容・結果	国が老朽化対策、耐波性の向上を図るため、高潮防波堤の上部工かさ上げ等を実施し、その内容に関して国と協議を行いました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	合計(平成23年度~)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	(4,024,365)	(2,081,910)	(1,644,777)	(11,040,255)	施工方法と施工範囲の拡充により増加したため。 工事費の( )は、国費負担分を含んだ金額です。
人件費	千円	1,341,455	693,970	548,259	3,680,085	
合計	千円	5,373	2,319	2,419	19,551	
	千円	1,346,828	696,289	550,678	3,699,636	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	最終目標 28	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	70.2	89.9	100.0	100(累計)	事業進捗率は、全体工事費を100とした工事費の割合です。	
	実績	71.1	89.9	100.0			
	事業進捗状況(28年度)	○順調 やや遅れ・遅れ					
	目標						
	実績						
	事業進捗状況(28年度)						
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標通り事業が進捗し、完了しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ 背後地域の生命・財産を守るため、必要性は高いと考えております。					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 高潮防波堤の改良により、高潮や津波に対する安全性が確保されることから、有効性が高いと考えております。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ コストが最小になるよう精査して事業を進めています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			高潮防波堤の改良工事が完了し、老朽化対策、耐波性の向上が図られたため。
課題	29年度以降の取組		